



青き楓

島高だより
平成23年6月

(高総体特別号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

県高総体特集



“優勝旗1本に値する”と評された島高の入場行進



優勝旗4本

- レスリング
- 弓道女子
- 剣道男子
- 剣道女子

島高魂～島高生としての誇り～

教頭 浦 明美

「魅せよう 島高魂～感謝・感動とともに」というスローガンの下、平成23年度県高校総体に臨みました。直前に実施した各運動部の主将たちへの「あなたにとって“島高魂”とはどういうものですか」というアンケートには、「創立以来111年積み重なった諸先輩方の思いや伝統と島高生としての誇り、そして校是“文武両道”の下、初心を最後まで貫く諦めない心」という回答もあり、大半が“誇り”ということばを用いて表現していました。主将たちの熱い思いは、今年度も県下各会場で島高旋風が沸き起こることを予感させました。

競技では、剣道部男女、レスリング部、弓道部女子が団体戦で優勝を成し遂げ、島高に4本の優勝旗をもたらしてくれました。それぞれの部が新聞等で優勝に近いという前評判を受けていただけに、並々ならぬ重圧もあったでしょうが、それをものはね除け、心技体のすべてにおいてまさしく「優れ秀でている」ということを見事に示してくれました。

6月9日には、サッカーの準決勝戦が島原会場で行われ、全校を挙げて応援に出かけました。試合は残念な結果に終わりましたが、保護者の方々も大勢駆けつけて下さり、「チーム島高」として心をつなげて感動を共有することができました。島高生は競技だけでなく入場行進や応援マナーでも各会場でお褒めのことばをいただきました。これも日頃から保護者の皆様、同窓生の方々、地域の方々のご理解、ご支援の下、本校が取り組んできた、「徳を中心に据えた校是“文武両道”の実践」にあると思います。この勢いをこれからの島高生一人ひとりの活動につなげてほしいと願っています。

レスリング部 伊藤 優 主将

今年の高総体もチーム一丸となって戦い、ライバル校の島原工業高校を倒し、団体五連覇を達成することができました。個人戦では8階級のうち6階級で優勝し、全ての階級で九州大会出場を決めました。この結果が出せたのは、喜多先生をはじめ今まで支えてくださった方々のお陰だと思っています。今後も、九州大会、インターハイと大事な大会が続きますが、今大会の反省点をしっかりと改善し、全国優勝を目標にチーム一丸となって戦っていききたいと思います。



剣道部男子 永谷 優樹 主将

今年の高総体は、長崎東高校との決勝戦で、4：0という結果で2年ぶりに優勝することができました。また個人戦では、優勝、準優勝を独占できました。これも指導して下さる先生方、支えて下さる保護者の方々のお陰だと思っています。これからまた、九州大会、玉竜旗、インターハイとありますが、部員一丸となって「強気」でどの大会も優勝できるように、稽古に励んでいきたいと思っています。

剣道部女子 増田 雅 主将

決勝戦は長崎日大高校と対戦し、3：0で勝利。4年連続9回目の優勝を成し遂げることができました。また個人戦でも、優勝、準優勝を独占できました。これもご指導して下さりました渡邊先生をはじめ5名の先生方やチームの仲間、支えてくださった方々のお陰です。これから九州大会、玉竜旗、インターハイと続きます。気を抜かず自分たちに足りないものを補い、全国制覇を目標に励んでいきたいと思っています。



弓道部女子 荒木 麻耶 主将

会場が島原だったこともあり、みなさんの大きな応援と拍手が選手の背中を押してくれました。選手はもちろんのこと、部員73名が一丸となり、靴並べやゴミ拾い、大会の進行など、島高魂をもって全力で取り組めたことが優勝への力ぎだったと思います。優勝はできましたが、練習ではよく出している20射中15～16中ができず悔しい思いをしました。上位大会ではこのような思いをしないように精一杯頑張ります。そして、プレーできる喜びと感謝を胸に一本一本大切に引きます。



平成23年度県高総体結果

(生徒会本部作成)

九州大会・インターハイに出場する選手を引き続き応援しましょう!

ソフトテニス 男子	[団体] <2回戦> 対 西彼農業 2-1 勝 <3回戦> 対 長崎日大 2-0 勝 <準々決勝> 対 苓岐 2-0 勝 <準決勝> 対 島原工業 2-1 勝 <決勝> 対 南山 0-2 負 準優勝 →九州大会出場 [個人] 長嶋・幸田組 3位 →インターハイ、九州大会出場 大島・大場組 4回戦 負 ベスト16
ソフトテニス 女子	[団体] <1回戦> 対 長崎東 1-2 負
テニス 男子	[団体] <1回戦> 対 精道三川台 3-0 勝 <2回戦> 対 佐世保北 0-2 負
テニス 女子	[団体] <1回戦> 対 上五島 3-0 勝 <2回戦> 対 佐世保北 0-3 負
バスケットボール 男子	<1回戦> 対 対馬 101-64 勝 <2回戦> 対 長崎北陽台 62-97 負
バスケットボール 女子	<1回戦> 対 佐世保高専 112-32 勝 <2回戦> 対 長崎女子 63-91 負
レスリング	[団体] <第1試合> 対 島原翔南 7-0 勝 <第2試合> 対 大村工業 7-0 勝 <第3試合> 対 島原工業 6-1 勝 優勝 →インターハイ、九州大会出場 [個人] 50kg級 伊藤優 60kg級 原田駿 66kg級 岩永和樹 74kg級 松坂誠應 84kg級 佐藤聖翔 120kg級 平山健斗... 優勝 →インターハイ、九州大会出場 55kg級 伊藤奨 96kg級 上田大翔 84kg級 永尾貴幸 120kg級 内田匠... 準優勝 →九州大会出場 55kg級 前田竜祐 60kg級 森大地... 3位
剣道 男子	[団体] 《予選リーグ》 対 佐世保西 4-0 勝 《決勝トーナメント1回戦》 対 北陽台 2-1 勝 《準々決勝》 対 対馬 3-1 勝 《準決勝》 対 海星 2-1 勝 《決勝》 対 長崎東 4-0 優勝 →インターハイ、九州大会出場 [個人] 林田匡平 優勝 →インターハイ、九州大会出場 永谷優樹 準優勝 →インターハイ、九州大会出場 那須剛志郎 第3位 →九州大会出場
剣道 女子	[団体] 《予選リーグ》 対 対馬 4-0 勝、対 長崎玉成 5-0 勝 《準々決勝》 対 諫早 3-0 勝 《準決勝》 対 清峰 3-1 勝 《決勝》 対 日大 3-0 優勝 →インターハイ、九州大会出場 [個人] 増田雅 優勝 →インターハイ、九州大会出場 阪本皇子 準優勝 →インターハイ、九州大会出場 小揚由紀子 8位 →九州大会出場
ラグビー	<一回戦> 対 猶興館 67-7 勝 <二回戦> 対 諫早 0-69 負
卓球	[団体] <一回戦> 対 川棚 3-2 勝 <二回戦> 対 瓊浦 0-3 負
バレーボール 男子	<2回戦> 対 海星 0-2 負(22-25, 23-25)
バレーボール 女子	<1回戦> 対 波佐見 2-0(25-18, 25-17) 勝 <二回戦> 対 島原商業 0-2(23-25, 17-25) 負
サッカー	<1回戦> 対 佐世保工業 1-0 勝 <2回戦> 対 長崎東 3-1 勝 <3回戦> 島原商業 1-1(PK3-2) 勝 <準々決勝> 対 瓊浦 0-0(PK4-1) 勝 <準決勝> 対 日大 0-4 負 3位
水泳	女子100m平泳ぎ 藤田優花 6位 →九州大会出場 女子200m平泳ぎ 藤田優花 7位 男子200mバタフライ 吉田光輝 8位
体操 男子	[団体] 第4位
体操 女子	[団体] 第3位
陸上競技	男子棒高跳び 寺井普幸 6位 →北九州大会出場 男子8種総合 板山航太 5位 男子8種総合 余縄智啓 10位 男子5000m 山下勝也 12位 男子走高跳 山口 透 15位 女子1500m 川端麻友 5位 →北九州大会出場 女子1500m 荒木恵里香 16位 女子800m 川端麻友 8位
弓道 男子	[団体]《1次予選》 37/60中 《2次予選》 25/40中 通過 《決勝リーグ》 1勝5敗 6位
弓道 女子	[団体] 《1次予選》 36/60中 《2次予選》 28/40中 通過 《決勝リーグ》 4勝2敗 優勝 →インターハイ、九州大会出場 [個人] 松田紗季 準優勝 →インターハイ、九州大会出場 永野文彩 第4位 →九州大会出場

